

(四国地方整備局からのメッセージ)

◆◆◆四国地方整備局トピック 2018. 9. 20◆◆◆

\*\*\*\*\*

【 四国地方整備局次長兼総務部長 永井 智哉 】

平成30年7月豪雨、度重なる台風の襲来等、今まで以上に自然災害への対応の必要性を痛感している次第です。

さて、今年、瀬戸大橋開通30周年、神戸淡路鳴門自動車道20周年と記念すべき年で、高速交通インフラによる安全性、利便性の向上等様々な効果を再認識でき、関わられた諸先輩、今、関わられている皆様に、敬意と感謝を申し上げます。

流通の向上で、阿波尾鶏、高知県産「なす」、愛媛県産養殖マダイなどなど日本のシェアトップクラスの四国の食材は多く、四国の美味で日本中が幸せになっています。また、インバウンドを初めとする観光客の増加、岡山大学と香川大学では互いに瀬戸内海を挟んだ地域からの入学者の割合が増加する等交流人口の増加が見られます。四国への移住者も増加しており、サテライトオフィスの集積地も各地に見られます。インフラ整備に加え各種取組を進められている皆様のご尽力の賜物です。ここで2点、最近の地域構造の議論についてご紹介いたします。

一つは、関係人口です。国土交通省の審議会でも議論されていますが、定住人口、交流人口に加え、地域や地域の人々と多様に関わる（その地に住んでいない）方々が、地域づくりの担い手になることが期待されています。例えば、クラウドファンディングやふるさと納税を通じた資金やボランティア等労力を提供する取組です。人を引きつける魅力ある四国においては、関係人口はとて親和性が高いと思います。

もう一つは、スーパー・メガリージョン（SMR）構想です。現在建設中のリニア中央新幹線により、三大都市圏が約1時間で結ばれ、世界からヒト、モノ、カネ、情報を引きつけ、世界を先導するSMRの形成が期待されます。その効果を、四国を含め全国に波及させるための検討会議が国土交通省に設置されています。中間報告がとりまとめられ、最終報告は来年夏頃の予定です。高速交通インフラへの期待は大きいですが、何もしないとストロー効果（この言葉は、瀬戸大橋開通にむけた地域開発計画の中で初めて使われたようですが）等マイナスの効果が懸念されるどころです。今でこそ日本を代表する商店街である高松丸亀商店街も瀬戸大橋開通による危機を知恵と創意工夫で乗り越えられた歴史があります。

四国の一層の発展のため、外にいる四国ファン（関係人口）のお力も借りながら、四国皆で力を合わせて参りましょう。

\*\*\*\*\*

目次

- 平成30年度「道路ふれあい月間」について
- 「88クリーンウォーク四国」を実施しました

- みなとウォッチングを実施しました
- 「松山みなと見学会」を開催しました
- 「松山空港 空の日フェスタ2018」にお越し下さい
- 東予港中央地区耐震強化岸壁供用式典を挙りました
- 秋は国営讃岐まんのう公園の「秋！色どりフェスタ」へぜひお越しください
- 四国技術事務所の取り組みについて

\*\*\*\*\*

## 平成30年度「道路ふれあい月間」について

### 【 道路部路政課・道路管理課 】

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路を利用する国民の方々に、改めて道路とふれあい、道路の役割及び重要性を再認識していただき、さらには道路をいつくしむという道路愛護思想の普及及び道路の正しい利用の啓発を図り、道路を常に広く美しく、安全に利用する気運を高めることを目的として各種活動を特に推進することとしています。

期間中は管内各地において、地域の方々や関係機関の協力を得ながら、当月間を超えた効果のある取り組みにつながるよう各種行事を実施しました。

- 徳島河川国道事務所：道路占用物件（マンホール等）の点検
- 徳島河川国道事務所：不法占用是正指導
- 徳島河川国道事務所：道路パトロール体験
- 徳島河川国道事務所：特殊車両取締り
- 松山河川国道事務所：体験!!キッズパトロール
- 中村河川国道事務所：影野小学校児童との合同美化活動
- 中村河川国道事務所：道路功労者表彰の伝達
- 土佐国道事務所：放置自転車取締り
- 土佐国道事務所：歩道清掃

\*\*\*\*\*

## 「88クリーンウォーク四国」を実施しました

### 【 道路部 道路管理課 】

「88クリーンウォーク四国」は、四国の道路を歩きながら道路の一斉清掃を行うボランティア活動です。平成15年から始まり、今年で16回目となります。ボランティア団体、沿道住民、企業の皆様のご参加により、毎年8月8日の早朝に1時間程度「もっときれいに、気持ちよく」の思いを込め、道路清掃を行っています。

今年も、8月8日に四国各地で約4,500名のボランティア参加者による道路の清掃が行われました。

#### 【活動概要】

##### 1. 実施日

平成30年8月8日（水）早朝

##### 2. 活動コース

活動コースには、2つのコースがあります。

- ・自由コース（近くの道路を自由に清掃）
- ・にぎわいコース（近くを清掃しながら拾ったゴミを持って各地の集合場所に集合）

#### ※各地の集合場所

- 徳島：阿波おどり会館前
- 香川：サンポート高松合同庁舎東側広場

愛媛：松山中央公園・愛媛県武道館前  
高知：高知城追手門前広場

\*\*\*\*\*

みなとウォッチングを実施しました

【 高知港湾・空港整備事務所 】

7月24日（火）に須崎港みなとウォッチング、7月27日（金）に高知港みなとウォッチングを実施しました。

みなとウォッチングは、7月16日（月）の「海の日」を中心に「第59回高知みなとまつり」が開催されており、その行事の一環として、普段見ることができない海からの景色を、港湾業務艇「とさかぜ」で楽しんで頂く場を提供すると同時に、たくさんの人が「みなと」に魅力や親しみを感じ、港の役割を理解して頂くことを目的に開催しています。

平成4年から実施しており今年で27回の開催です。

参加者は、須崎港で2便 合計15名、高知港で4便 合計60名の方に参加して頂きました。

高知港みなとウォッチングは、事務所係船場から出港し、浦戸湾内から浦戸大橋の下をくぐり、高知新港、桂浜周辺海域を回るコースで実施しました。

船内では、職員から企業や施設を紹介し、港がどういう形で利用されているか、また、港の整備状況についても説明。

防波堤の内側から外海へ出たときに、参加者は波が高いことを実感し、防波堤の大切さを感じていただきました。

海側から、桂浜や龍馬像を見てもらい、違った角度からの景色を楽しんでいただきました。

当日はテレビの取材もあり、昼間や夕方のニュースで、港の役割を学んだことや外海に出たときは波が高く防波堤の大切さを感じたと紹介があり、参加者のインタビューも交えた報道で県民の皆様に広く知って頂くことができました。

\*\*\*\*\*

「松山みなと見学会」を開催しました

【 松山港湾・空港整備事務所 】

平成30年8月9日（木）に、海の日関連行事として毎年恒例の「松山みなと見学会」を開催しました。本見学会は、“みなと”が果たす役割を広く周知し、理解してもらうことを目的としており、開催は今年で27回目になります。当日は小学生25名とその保護者に参加頂き、みなとに関する理解を深めて頂きました。

まず始めに、会議室にて当事務所の仕事紹介を行いました。難しい内容もあったと思いますが、小学生たちは真剣な眼差しで聞いてくれました。質問タイムでは、「松山港に入港できる船舶の大きさ」「海洋環境整備事業におけるゴミ回収の仕組み」などについて、感じた疑問を自分の言葉で発言してくれました。

続いて、港湾業務艇「くるしま」に乗船して松山港国際物流ターミナル周辺を見学しました。間近で見るガントリークレーンやコンテナの迫力に、小学生も保護者も驚いた様子でした。また、海上に漂う流木やプラスチックゴミも多数確認でき、台風の影響とゴミ回収作業の必要性を再認識して頂きました。

その後、松山空港周辺に船を進め、松山空港が整備されてきた歴史や、現在就航している国内線・国際線について紹介しました。見学の途中で運良く飛行機の着陸を間近で見ることができ、参加者からは驚きや喜びの声が上がっていました。

\*\*\*\*\*

「松山空港 空の日フェスタ2018」にお越し下さい

【 松山港湾・空港整備事務所 】

毎年9月20日は「空の日」として定められており、各地の空港で関連するイベントが開催されています。松山空港では、毎年恒例の「空の日フェスタ」が次のとおり開催されます。

- 日時：平成30年9月29日（土） 9:30～15:00
- 場所：第一会場（松山空港ターミナルビル）、第二会場（松山空港事務所）
- 参加費：無料

当事務所は上記の一環として、空港整備事業に関するパネルの展示、松山空港模型の展示及び風洞実験装置の展示を行います。

また、当日は当事務所以外にも多くの官署等が出展予定です。制服を着ての記念撮影や一日空港長体験、フライトシミュレーター体験やバスツアーなど、多くのイベントが予定されています。松山空港マスコットキャラクターの「まっくう」や、愛媛県マスコットキャラクターの「みきゃん」も来てくれるかもしれません。

老若男女を問わず、楽しみながら勉強できるイベントですので、当日は是非会場にお越し下さい。

\*\*\*\*\*

東予港中央地区耐震強化岸壁供用式典を挙行了しました

【 松山港湾・空港整備事務所 】

平成30年7月28日（土）に、愛媛県西条市の四国開発フェリー(株)新ターミナルビル内において、「東予港中央地区耐震強化岸壁供用式典」を挙行了しました。

東予港中央地区では、平成26年度から複合一貫輸送ターミナル整備事業を実施しており、貨物量の増加に伴う船舶の大型化に対応するとともに、大規模地震発生時の緊急物資等の輸送拠点を確保することを目的に、耐震強化岸壁（水深7.5m）、航路、泊地、ふ頭用地、臨港道路を整備しています。

今回の耐震強化岸壁（水深7.5m）の供用により、大型フェリー（15,000トン級）が着岸可能になり、トラック積載台数が約3割増加するなど、物流の効率化と経済活動の活性化が期待されます。また、震災後すぐに緊急物資等を海上から搬入することが可能になり、震災後も安定した物流機能を確保し、地域経済活動の維持にも寄与します。

式典には、地元選出の国会議員、県議会議員、市議会議員及び地元関係者など約140名の方々に参加頂きました。

高橋愛媛県東予建設局長の式辞、浅輪国土交通省大臣官房技術参事官の挨拶後、来賓の方々からご挨拶をいただきました。その後、亀岡松山港湾・空港整備事務所長から事業概要説明を行い、西条市長の挨拶の後、テープカットを行いました。

\*\*\*\*\*

秋は国営讃岐まんのう公園の「秋！色どりフェスタ」へぜひお越しください

【 香川河川国道事務所 公園課 】

国営讃岐まんのう公園は、四季折々の花や草木が鑑賞でき、年間を通じて工作教室や里山体験、イルミネーションなど多くのイベントを行っております。また、ふわふわドームやエックスライダー（長いすべり台）などのこども向けの施設に加え、満濃池を眺めながら楽しめるサイクリングやウォーキングは、大人にも人気があり老若男女みなさまが楽しめる公園となっております。

秋の公園では、9月15日（土）～11月4日（日）までの期間「秋！色どりフェスタ」を開催しています。

23品種約50万本のコスモスが次々に開花し、9月中旬～10月下旬にかけて「キバナコスモス」や「センセーション」などが見頃を迎えます。また約4千本のコキア（和名：ホウキグサ）は、9月下旬頃から徐々に紅葉していき、10月下旬頃まで楽しめます。

また、イベント期間中の10月6日（土）～8日（月・祝）は、香川の盆栽を展示する「さぬきBONSAI展」を開催。10月13日（土）、14（日）は“体験型”アウトドアイベント「Outdoor Park in 讃岐まんのう公園」、10月14日（日）にはパワーショベルやパトカーなど働く車が勢ぞろいする「働く車!!フェスティバル2018」、さらに10月28日（日）は地元まんのう町の伝統芸能披露やタレントショーなどの催しを行う「かりんまつり」など秋を満喫できるイベントが目白押しです。

その他、土日祝日を中心に開催するハーブ教室やトールペイント教室では季節を感じるメニューが体験できます。また自然生態園では昔ながらの遊びを体験することができるほか、ボランティアと一緒に園内を散策するガイドウォークなどのイベントもお楽しみいただけます。

みなさまのご来園をお待ちしております。

☆☆☆無料入園日のお知らせ!!☆☆☆ ※駐車料金は別途必要です。

10月 7 日(日)・28日(日) 無料入園日

※こども(中学生以下)は入園料無料です。H30.4より料金改定

※季節の花情報やイベント情報については、国営讃岐まんのう公園ホームページでご確認できます。

(<https://sanukimannoupark.jp/>)

\*\*\*\*\*

## 四国技術事務所の取り組みについて

### 【 四国技術事務所 】

四国技術事務所は、災害対策支援や災害対策用機械の操作訓練、研修による防災技術向上、各種調査・試験の実施、技術情報の収集・提供を行い、新技術の活用・普及に取り組んでいます。

今回は、防災技術センターとしての業務を紹介いたします。

#### ■防災技術センター

防災技術センターは、四国地方整備局防災業務計画により四国技術事務所に設置され、所管公共施設に関する災害の予防、応急対策、応急復旧及び四国地方整備局が行う災害支援活動について、広域的で機動的な災害対応を支援するための防災に関する業務を行うために設置された組織です。

・広域的で機動的な災害対策支援

防災技術センターでは、災害時の災害対策用機械等の派遣や資機材の提供が円滑に行われるよう、日頃から災害対策用機械、応急復旧用資機材、及び緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の携行装備品の維持管理及び点検を行っています。

平成30年7月豪雨対応においても、災害対策用機械の派遣や携行装備品の準備などの後方支援を行いました。今回は、NEXCO西日本に対する遠隔操縦式バックホウの貸与や被災地への緊急物資運搬作業、愛媛・高知両県へ災害対策支援班・現地調査班として派遣されたTEC-FORCE延べ145人の装備品等の準備を行いました。

派遣期間が連続し、また派遣人員も多いことから、装備品の準備には困難をきたしましたが、帰還した班の防災服のクリーニングや安全靴、長靴、ベスト、ヘルメット、リュックサックなどの洗浄を計画的に行い、次班への受け渡しを円滑に行うことができました。

今回の派遣では、派遣元事務所において隊員が携行する準備品の調達にご協力いただき、大変お世話になりました。今後、今回の派遣における課題や要望から不足する装備品の補充等を行い、装備品や資機材の提供が円滑に行われるよう努めたいと思います。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

\*\*\*\*\*

四国地方整備局HP

<http://www.skr.mlit.go.jp/>

四国地方整備局Facebook

<https://www.facebook.com/shikokuchisei/>

\*\*\*\*\*

自治体担当者様におかれましては、首長ご本人への転送とあわせて、職員の方への周知もお願いいたします。

「いきいき四国通信」に関するご意見、配信中止・配信先変更のご希望等がありましたら、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

国土交通省 四国地方整備局 企画部 「いきいき四国通信」事務局

<mailto:skr-seibikyoku@mlit.go.jp>

\*\*\*\*\*